

研究実施のお知らせ

2022 年 8 月 3 日 ver.1.0

研究課題名

島根県出雲市における高齢者肺炎の死亡率に対する肺炎球菌ワクチン接種の効果に関する疫学調査

研究の対象となる方

2018 年 4 月から 2020 年 4 月の間に島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、出雲市民病院、出雲徳洲会病院、出雲市立総合医療センターで細菌性肺炎と診断され入院治療を受けられた 65 歳以上の方

研究の目的・意義

日本人の死因の第 3 位は肺炎であり、肺炎による死亡者の 95%以上を 65 歳以上の高齢者が占めています。肺炎の起病菌として最も多いのは肺炎球菌ですが、高齢者や基礎疾患を有する患者さんが重症化すると非常に予後不良となります。現在肺炎球菌感染の重症化予防目的に 2 種類の肺炎球菌ワクチン（PPSV23, PCV13）が接種可能となっています。我々は、2010 年から 2014 年に細菌性肺炎として入院した患者さんについて調査を行っております。その頃と比較して、肺炎球菌ワクチンの接種率が向上していると予想される 2018 年から 2020 年の期間に細菌性肺炎として入院した患者さんについて再調査を実施し、肺炎球菌肺炎の重症度や死亡率などがどのように変化したのかを調べるのが本研究の目的です。

研究の方法

電子カルテから年齢、性別、基礎疾患の有無、入院と退院の年月日、細菌性肺炎の重症度、細菌学的検査の有無と肺炎の起病菌、使用された抗菌薬と使用期間、転帰、肺炎球菌ワクチン接種状況について拾い上げを行います。

研究対象者の個人情報となり得るような生年月日、氏名、カルテ ID 等については別途連結表を作成した上で、個人が特定されないような配慮を行います。

各施設のデータは紙媒体あるいは Excel ファイルに記録され、島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科へ郵送あるいはパスワードをかけた状態で E-mail で送付されます。

研究の期間

2022 年 10 月（研究許可後）～2025 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

研究代表者：

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 濱口 愛

共同研究機関

[研究機関]	[研究責任者]	[研究機関の長]
島根大学	濱口 愛	鬼形 和道
島根県立中央病院	堀田尚誠	小阪 真二

既存の情報の提供のみを行う機関

[提供機関]	[提供担当者]	[機関の長]
出雲市民病院	幡 高次郎	小松 泰介
出雲市立総合医療センター	沖本 民生	佐藤 秀一
出雲徳洲会病院	小林 美郷	田原 英樹

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2023年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：濱口 愛

所属：島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科

住所：島根県出雲市塩冶町 89-1

電話：0853-23-2111 FAX：0853-20-2063